Shochiku

Company Profile

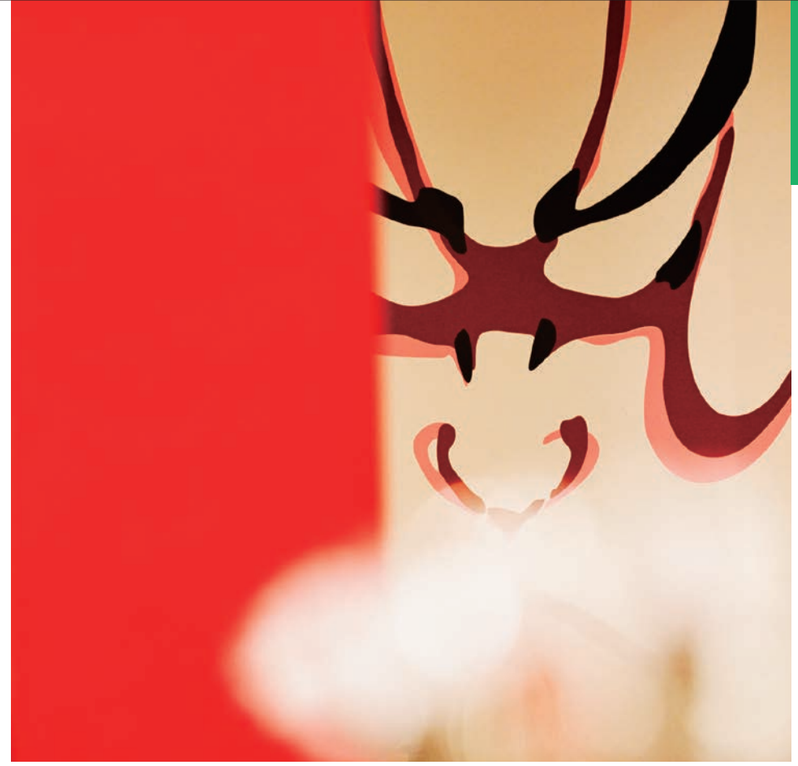
Our Mission

日本文化の伝統を継承、発展させ、世界文化に貢献する。

私たちは創業以来、演劇、映画の創造を通じて“日本文化の伝統”を大切にし、その歴史を支えてきました。また、日本で初めての本格的トーキー（有声）映画、国産カラー映画を手掛けるとともに、現代に生きる歌舞伎の継承と発展に努めてきました。そして今、世界で日本文化の評価が高まる中、私たちの創りだす作品が、“世界文化”として国を超え時代を超えて愛されるよう努めていきます。

時代のニーズをとらえ、あらゆる世代に豊かで多様なコンテンツをお届けする。

お客様が求める娯楽は時代とともに移り変わり、その時々に合った“楽しみ”を提供できる企業が、常に社会から求められてきました。お客様と足並みを揃えつつも、その期待の半歩先をいくことこそが、我々エンタテインメント企業に与えられた使命です。今の時代に生きるお客様に喜んでいただけるよう、これからも最高のエンタテインメントを追求していきます。



Top Message

社長挨拶

継承と革新で文化を支え 創り続ける

松竹は、演劇事業・映像事業・不動産事業・その他事業の4つの事業を柱とする総合エンタテインメント企業です。1895（明治28）年の創業以来、あらゆるコンテンツを通じて、一人でも多くのお客様に「夢」と「感動」をお届けするべく、文化の継承と創造を使命に取り組んでまいりました。

なかでも、創業より130年近く日本の伝統芸能である歌舞伎に深く関わり、今日までその製作と興行を担ってまいりました。これからも歌舞伎を支えるだけではなく、お客様に支持される生きたエンタテインメントとして、継承と発展に努め、世界文化に貢献してまいります。

映像事業についても、その草創期から携わってまいりました。日本初の本格的トーキー映画や、国産カラー映画の製作を手掛けるなど、時代をいち早く察知し、新たな挑戦を繰り返しながら、100年以上にわたり数々の名作、話題作を世界中の皆様のもとへお届けしております。

また当グループは、撮影スタジオ・劇場・映画館・放送局などを保有し、多様なエンタテインメントを生み出し、提供するまでを一貫して手がけております。今後も松竹らしく人間を丁寧に描いた作品をはじめ、バラエティに富んだ作品をあらゆる角度から発信してまいります。

これからも時代のニーズをとらえ、常に挑戦を続け、日本にとどまらず世界文化に貢献する企業を目指してまいります。そして「松竹」というブランドに磨きをかけるべく、社員一丸となり邁進いたしますので、皆さまのご理解と温かいご支援をお願い申し上げます。

松竹株式会社
代表取締役社長 社長執行役員
髙橋 敏弘

Business Field

松竹グループの事業

演劇事業

- 歌舞伎・演劇の企画・製作・興行
- 直営劇場の運営
- 歌舞伎・演劇のライセンスビジネス
- 歌舞伎関連イベント運営
- 公演の二次利用・映像化（パッケージ・配信・テレビ放映）

不動産事業

- ビル賃貸
- 不動産管理［松竹・松竹サービスネットワーク］
- 不動産開発
- 地域活性化・街づくり

映画・映像事業

- 映画の製作・配給
- 外国コンテンツの買付・配給・共同製作・ロケ誘致
- 映画館の経営［松竹マルチプレックスシアターズ］
- 劇場用映画以外の映像製作（テレビドラマ・ テレビアニメなど
- CS放送［松竹プロ― ドキャスティング］
- 劇場用プログラム・映画グッズの製作・販売
- 映画・テレビドラマ・アニメの二次利用
  （パッケージ・配信・テレビ放映・海外販売・ライツビジネス）
- 音楽著作権の利用開発・許諾［松竹音楽出版］

関連事業・新領域事業

- 先端技術を用いたコンテンツ制作
- ライブエンタテインメント・イベントの企画・運営
- キャラクター開発及び商品の企画・製作・販売
- ゲーム事業
- ベンチャー投資
- ECサイトの運営
- レストラン・駐車場他の運営
- 芸能プロダクション［松竹芸能・松竹エンタテインメント］
- こども歌舞伎スクール、俳優養成スクールの運営
- 広告代理事業［松竹ナビ］

Sustainability

松竹グループのサステナビリティ

松竹グループでは、事業活動を通じて、社会の課題解決や
持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

松竹グループサステナビリティ基本方針

松竹グループでは以下のとおり「ミッション」を定めております。

日本文化の伝統を継承、発展させ、世界文化に貢献する。
時代のニーズをとらえ、あらゆる世代に豊かで多様なコンテンツをお届けする。

今後もこのミッションに基づき、松竹グループの持続的成長を通じて、様々な社会課題の解決に寄与するとともに、お客様の心の豊かさに繋がる価値提供と従業員の幸福を追求して参ります。

マテリアリティ（重要課題）

私たちは、グループミッションに基づき、5つのマテリアリティを特定しました。

文化継承・保全

文化の発信・提供

コミュニティとの共生

お客様と従業員の幸福

地球環境への配慮

松竹グループのサステナビリティについての詳細は、当社ホームページをご覧ください。https://www.shochiku.co.jp/company/profile/sustainability/

Foundation of Shochiku

松竹のはじまり

大谷竹次郎　　白井松次郎

歌舞伎で興り、
日本映画界に革新を

創業期 歌舞伎興行のスタート

1890年、京都にあった劇場・祇園館で、当代一の歌舞伎俳優・九代目市川團十郎と上方の花形俳優・初代中村鴈治郎が共演し、大きな話題を集めました。この前代未聞の舞台を、目を輝かせ食い入るように見つめていた双子の少年たちが、後に松竹を創業する白井松次郎と大谷竹次郎です。

この舞台に魅せられた二人はやがて、歌舞伎をはじめとした演劇の興行を自らの手で行うようになります。明治という新しい時代に即した興行に次々と着手し、次第に「松竹（まつたけ）」の名で世間に知られるようになりました。京都新京極に立ち並ぶ芝居小屋、日本で最も歴史ある劇場の南座、西日本最大の劇場街だった大阪道頓堀の劇場も破竹の勢いで傘下に収め、さらには東京に進出し、新富座と歌舞伎座の経営権を獲得。その後創業からわずか34年後の1929年には、大劇場の歌舞伎公演のすべてを担うこととなりました。

松竹が多彩なエンタテインメント事業を行いながらも歌舞伎の製作・興行を今日まで続けているのは、創業のきっかけが歌舞伎にあること、そして創業者の演劇に対する並々ならぬ愛情や、お客様に喜んでいただきたいという想いを受け継いでいるからにほかなりません。

映画ビジネスへの参入

松竹は1920年、映画事業にも乗り出します。1924年に松竹蒲田撮影所長に就任した城戸四郎は、所長室だけでなく脚本部にも机を置きました。映画のスタッフは皆社員という時代。小津安二郎をはじめ後に日本映画史に名を残すこととなる映画監督らとともに、議論しながら映画を作る中で、〈蒲田調〉と呼ばれる「映画製作の心得とテーマ」が生まれました。

後に社長・会長も務めた城戸は、「蒲田調なるものは、人間社会に起こる身近な出来ごとを通して、その中に人間の真実というものを直視することである。（中略）映画の基本は救いでなければならない。観た人間に失望を与えるようなことをしてはいけない。これが、いわゆる蒲田調の基本線だ」と述べています。

人間の真実を、あたたかく希望を持った明るさで見ようとすることが、〈蒲田調〉及びそれを引き継いだ〈大船調〉と呼ばれる、松竹の映画製作のDNAです。これはひとえに、生み出した作品でお客様に感動をお届けするためのもの。これからも、先人たちの想いを大切に、お客様の心に届く作品を提供していきます。

History of Shochiku

松竹の歩み

1895 **創業の年**　大谷竹次郎、京都・阪井座の仕打ち（興行主）となる

1906 演劇 日本最古の劇場、**南座**を直営とする

1914 演劇 **歌舞伎座**を直営とする

1920 映画 松竹蒲田撮影所を開所し、映画製作を開始。**松竹キネマ第1作『島の女』**（監督：ヘンリー・小谷）公開

1928 演劇 **初の歌舞伎海外公演**（市川左團次一座によるソビエト連邦公演）

1931 映画 **日本初の本格的トーキー（有声）作品『マダムと女房』**（監督：五所平之助）公開

1936 映画 **松竹大船撮影所**開所、蒲田撮影所閉鎖

1940 演劇 **新橋演舞場**を直営とする。曾我廼家五郎劇で第1回興行

1943 映画 **日本初のフルセルアニメーション『くもとちゅうりっぷ』**（監督：政岡憲三）公開

1948 演劇 **松竹新喜劇結成**、大阪の中座で第1回公演

1951 演劇 **第四期歌舞伎座**復興開場
映画 **初の国産カラー作品『カルメン故郷に帰る』**（監督：木下恵介）公開

1953 演劇 **歌舞伎座初の天覧歌舞伎**
映画 **『東京物語』**（監督：小津安二郎）公開
＊英国映画協会発行「Sight&Sound」誌の世界映画ベストテン、映画監督による投票で1位（2012年）

1954 映画 **『二十四の瞳』**（監督：木下恵介）公開 ＊第12回ゴールデングローブ賞外国語映画賞受賞（1955年）

1969 映画 **『男はつらいよ』**（監督：山田洋次）シリーズ第1作公開
＊2019年までに全50作公開／シリーズ第30作『男はつらいよ 花も嵐も寅次郎』をもって、一人の俳優が演じた最も長い映画シリーズとしてギネスブック認定

1972 映像 朝日放送・松竹製作**『必殺シリーズ』**テレビ放映開始

1974 映画 **『砂の器』**（監督：野村芳太郎）公開

1978 映画 日本アカデミー賞創設、**『幸福の黄色いハンカチ』**（監督：山田洋次）が第1回作品賞他各賞受賞

1987 演劇 新派百年記念特別公演（新橋演舞場）

1988 映画 **『釣りバカ日誌』**（監督：栗山富夫）シリーズ第1作公開 ＊2009年までに全22作公開

1992 映像 CSチャンネル「**衛星劇場**」放送開始

1997 演劇 **大阪松竹座**新築開場
映画 松竹マルチプレックスシアターズ シネコン第1号 **MOVIX六甲**開館

2002 映画 松竹・日本ヘラルド映画共同配給**『ロード・オブ・ザ・リング／旅の仲間』**（監督：ピーター・ジャクソン）公開
＊2003年『二つの塔』、2004年『王の帰還』の3部作で、興行収入273.1億円を記録
映画 **『たそがれ清兵衛』**（監督：山田洋次）公開 ＊第76回米国アカデミー賞®外国語映画賞ノミネート

2005 演劇 映像 **シネマ歌舞伎第1弾『野田版 鼠小僧』**公開

2006 演劇 映像 **METライブビューイング第1作『魔笛』**上映
映画 **『武士の一分』**（監督：山田洋次）公開 ＊興行収入41.2億円を記録。時代劇として記録的大ヒット

2007 演劇 演劇ライツ室発足。演劇ライツビジネスの本格展開を開始

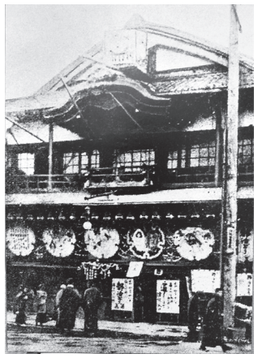
2008 映画 **『おくりびと』**（監督：滝田洋二郎）公開＊興行収入64.8億円の大ヒット
第81回米国アカデミー賞®外国語映画賞受賞、第32回モントリオール世界映画祭グランプリ受賞

2013 演劇 **第五期歌舞伎座**新開場（GINZA KABUKIZA竣工）

2018 演劇 南座発祥四百年 南座新開場

2020 演劇 歌舞伎公式動画配信サービス「**歌舞伎オンデマンド**」開始

2022 映像 BSチャンネル「**ＢＳ松竹東急**」開局


南座（1906）

『東京物語』（1953）©松竹

『男はつらいよ』（1969）©松竹

第五期歌舞伎座（2013～）

Theatre Business

演劇事業

唯一の歌舞伎の興行主としての誇りと使命。
演劇ビジネスの新たな可能性への挑戦。

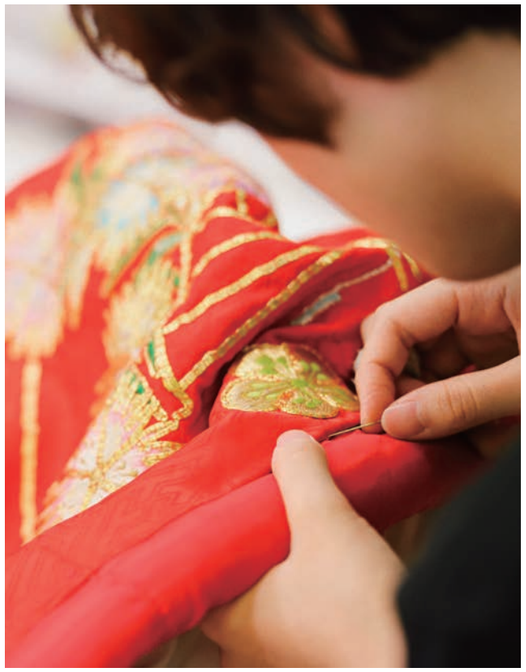
4つの直営劇場や地方巡業、海外などにおいて、歌舞伎の公演を行っています。また、歌舞伎以外にも幅広い分野の演劇作品の企画、製作、興行を手掛け、さらにはシネマ歌舞伎など、演劇のアセットを活かした二次利用、新規事業にも挑んでいます。

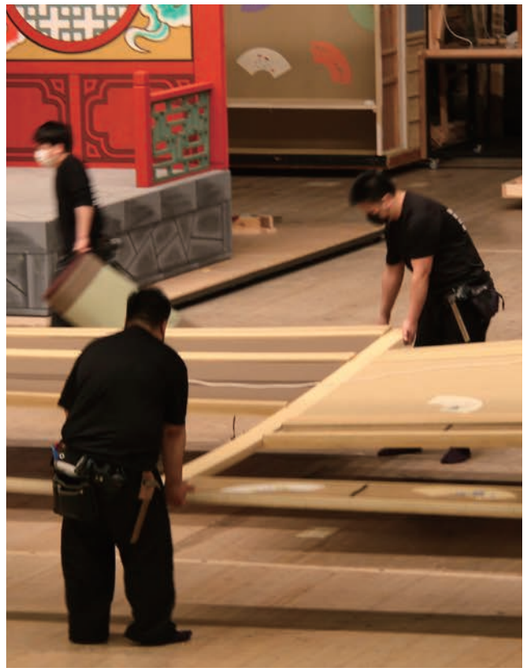
©松竹

企画製作

歌舞伎座舞台(株)　松竹衣裳(株)　日本演劇衣裳(株)　(株)関西美術　松竹ショウビズスタジオ(株)

歌舞伎・新派・松竹新喜劇を始めとする様々なジャンルの公演の企画立案と舞台づくりを手掛けています。歌舞伎公演においては、「継承」と「創造」の両輪から、古典の継承はもちろん、新作歌舞伎の製作も行っています。また「劇団新派」「松竹新喜劇」においても古典の継承とともに新作の製作にも励んでいます。その他、ストレートプレイ・ミュージカル・「OSK日本歌劇団」などレビュー公演まで幅広く取り組み続けています。





興行

直営劇場である歌舞伎座・新橋演舞場・大阪松竹座・南座を中心に、日生劇場・三越劇場・シアターコクーンなどの外部の劇場も合わせ、主要都市で興行を行っております。その他にも、地方巡業公演、海外公演など、様々な施設でお客様に公演をお届けしています。

歌舞伎座

新橋演舞場

大阪松竹座

南座

2018年パリ「松竹大歌舞伎」

「四国こんぴら歌舞伎大芝居」を開催する金丸座

二次利用

演劇の魅力をあらゆるお客様にいつでもお届けできるよう、公演の映像化(ビデオパッケージ製作・販売・配信)を行っています。中でも歌舞伎の話題公演、名舞台を全国の映画館でお楽しみいただける「シネマ歌舞伎」や、ご家庭で手軽に視聴いただける配信サービス「歌舞伎オンデマンド」、パートワーク「歌舞伎特選DVDコレクション」などに注力しています。

Motion Picture Business

映画・映像事業

ものづくりへのこだわりと情熱。
映像を通して、
人々の心をつないでいく。

お客様に夢や感動を与える作品づくりを目指し、映像ビジネスにおける“川上から川下まで”を一貫して手掛けています。また、旧作を現代に届けるためのライブラリーの活性化や、映画館の最新上映設備の導入など、新たな挑戦も続けています。

製作（企画・制作）

松竹衣裳(株)　(株)松竹撮影所　(株)松竹映像センター　松竹ブロードキャスティング(株)　松竹音楽出版(株)

国内有数かつ最大級の映画製作会社として、実写映画・アニメ映画の企画立案、製作を手掛けています。中でも自社企画作品については、創業以来の伝統とノウハウを継承し、積極的に取り組んでいます。また映画のみならず、テレビアニメ・テレビドラマ作品も製作しています。

『366日』2025年1月10日（金）公開
©2025映画「366日」製作委員会

『戦隊大失格』2nd season 鋭意制作中 2025年放送開始予定
©春場ねぎ・講談社／「戦隊大失格」製作委員会

配給（洋画買付・映画営業・映画宣伝）

松竹ナビ(株)

製作、買付作品を中心に、邦画・洋画・アニメのみならず、シネマ歌舞伎・METライブビューイング・松竹ブロードウェイシネマといったODS作品など、あらゆるジャンルの作品の配給を行っています。年間配給本数は国内トップクラスを誇ります。

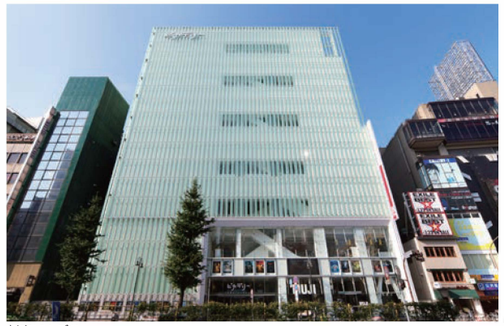
『赤羽骨子のボディガード』
©2024 映画「赤羽骨子のボディガード」製作委員会

『Kill（英題）』
© 2024 BY DHARMA PRODUCTIONS PVT. LTD. & SIKHYA ENTERTAINMENT PVT. LTD.

興行（映画館）

(株)松竹マルチプレックスシアターズ

映画興行はすべて松竹マルチプレックスシアターズが担い、新宿ピカデリー・丸の内ピカデリー・熊本ピカデリーおよびMOVIXなど、全国に29の映画館を運営しています。ドルビーシネマや可動式3面ライブスクリーン、イベントステージの併設など、新規設備開発にも注力しています。



新宿ピカデリー

丸の内ピカデリー ドルビーシネマ

二次利用

(株)松竹映像センター　松竹音楽出版(株)

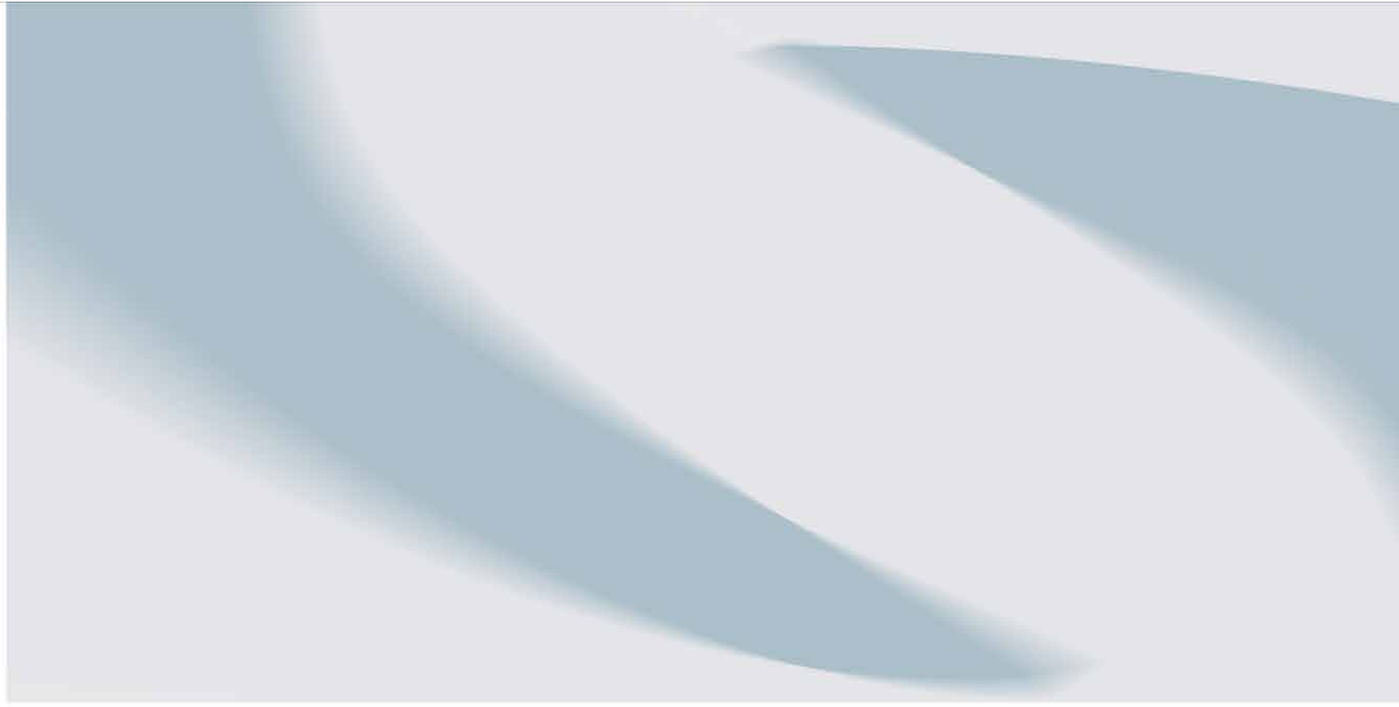
映画・映像作品のBlu-ray／DVD発売・販売、デジタル配信、テレビ放映権販売、機内上映権販売、海外販売、出版・商品権販売など、映画・映像の作品を多岐にわたり権利運用しています。また、旧作の保存と継承にも取り組み、フィルムやデジタル原版のライブラリー化や修復を積極的に行っています。

『釣りバカ日誌』シリーズ©松竹

『二十四の瞳』(1954)©松竹

Other Business

演劇・映像関連事業



歌舞伎ライセンス・グッズ

歌舞伎をモチーフとした商品開発や、他社コンテンツとのコラボレーショングッズ開発により、歌舞伎の魅力をより身近に感じていただけるよう努めています。また歌舞伎関連グッズ専門店「松竹歌舞伎屋本舗」を、東京本店・木挽町広場店の2店舗と、公式通販サイト・楽天市場店で展開しているほか、歌舞伎のPRキャラクター「かぶきにゃんたろう」のライセンス・グッズも展開しています。

「BEAMS JAPAN×松竹株式会社」
コラボレーション商品

©2024 SANRIO／SHOCHIKU
著作　株式会社サンリオ

映画パンフレット・グッズ

自社および他社配給作品の映画パンフレット・グッズの企画制作を行っています。邦画・洋画・アニメなど、ジャンルを問わず幅広く、多数手掛けています。

©2023「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」製作委員会

芸能プロダクション タレントエージェント

松竹芸能(株)　(株)松竹エンタテインメント　S・Gエージェント(株)

松竹グループ内に松竹芸能・松竹エンタテインメントの2つの芸能プロダクションを有しています。お笑い芸人・俳優・タレントをはじめ、モデル・声優・音楽家・スポーツ選手等、多岐のジャンルにわたって育成、マネジメントを行っています。また、S・Gエージェントは俳優やタレントのエージェント業務のほか、演劇コンテンツの企画や、それらのコンテンツの映像化をライブビューイングや配信等でお届けします。

CS放送

松竹ブロードキャスティング(株)

様々なコンテンツをより多くの人々へお届けする場のひとつとして、CS放送 を展開しています。CS放送では、「衛星劇　場」「ホームドラマチャンネル」を運営し、全国のケーブルテレビ局やスカパー、IPTVなどに番組を供給しています。

衛星劇場

ホームドラマチャンネル

〃新しさの追求 そして文化へ〃
―多様な演劇の継承

創業は歌舞伎興行からのスタートでしたが、時代の流れを見据え、松竹では様々なジャンルの興行を行ってきました。歌舞伎の旧派に対して誕生した新派と、曽我廼家五郎亡き後上方喜劇の復活に努めた松竹新喜劇の東西の二劇団、ＯＳＫ・ＳＫＤをはじめとする華やかなレビュー劇団は二世を風靡しました。特に「劇団新派」「松竹新喜劇」は今でも松竹所属の劇団として存在感を示しています。

©松竹

©松竹

〃映画鑑賞を体験型に〃
―松竹マルチプレックスシアターズの映画館

丸の内ピカデリーとＭＯＶＩＸ京都、ＭＯＶＩＸさいたまに、究極のシアターである「ドルビーシネマ」を導入しています。映画に命を宿し、今まで体感したことが無いような没入感を味わうことが出来ます。また、丸の内ピカデリーと熊本ピカデリーには、音楽ライブ、演劇、スポーツ等を圧倒的な臨場感で堪能できる可動式３面ライブスクリーンを導入。加えて丸の内ピカデリーには常設の大型ステージを設置し、映画と実演パフォーマンスやイベントを組み合わせた新たな試みにも取り組んでいます。

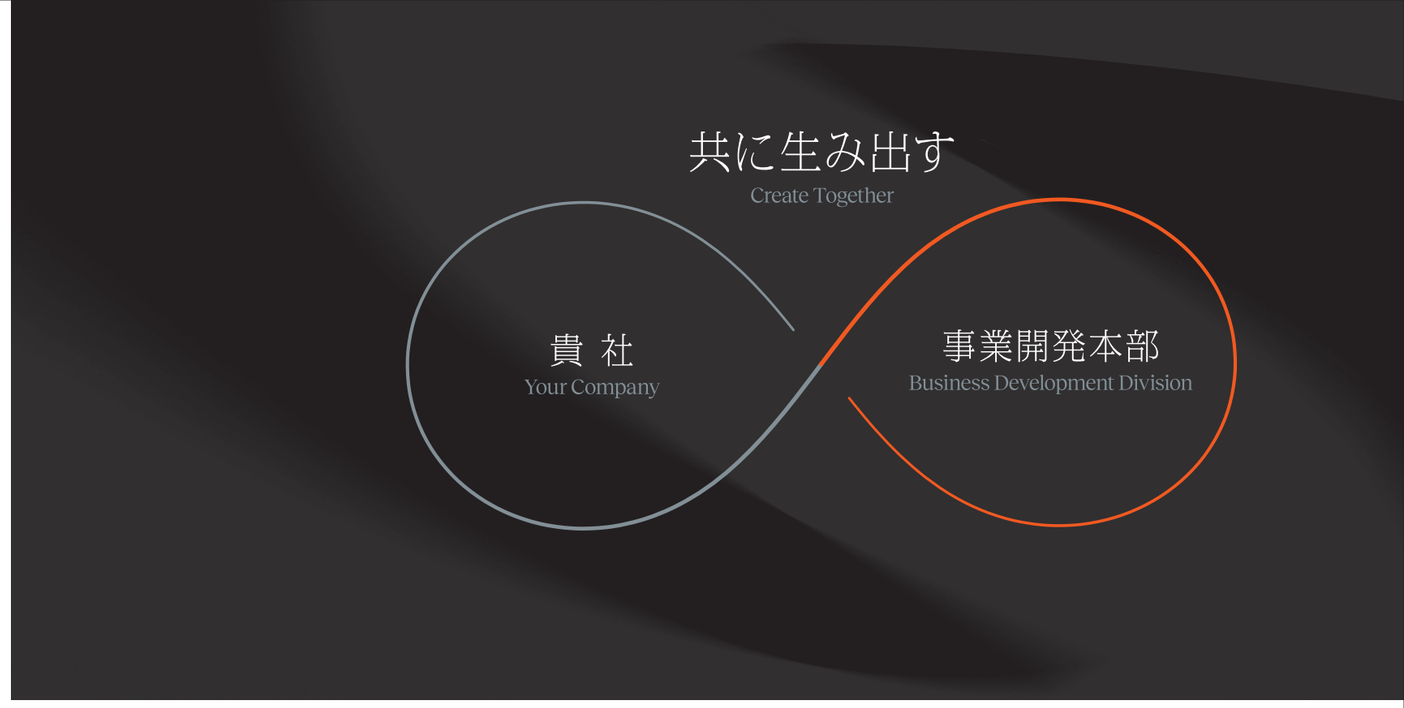
丸の内ピカデリー 可動式3面ライブスクリーン

New Business Development

新規事業開発

企業の垣根を越えた共創と、
新しいマーケットへの挑戦。
130年の歴史を、自ら革新していく。

スタートアップや他業種企業を含めた様々なビジネスパートナーとの共同事業開発を通し、新規事業領域の拡大にも取り組んでいます。劇場や非劇場というカテゴリー、演劇や映画というジャンル、国や地域のボーダー、リアルやバーチャルという概念―あらゆる枠を越え、新しいエンタメコンテンツの企画開発、イノベーティブな事業創出と推進を目指しています。



最先端技術を活用した ライブエンタテインメント及びイベント開発

ライブエンタテインメント事業では、最先端技術を用いた鑑賞体験の拡張に挑戦し、様々なライブフォーマットの開発を行い、特に体験型エンタテインメントにおいて市場を開拓してまいります。また、イベント事業においては、これまでの実績をもとに「松竹お化け屋本舗」をジャパニーズホラーコンテンツとしてグローバル展開を目指します。

MRヘッドセットを装着し歌舞伎を鑑賞するコンテンツの開発

「ホラーにふれる展　ー映画美術の世界ー」

「ZIPANGU 光が彩る演舞祭」

「浪漫活弁シネマ ～映画『青春の夢いまいづこ』篇～」

ゲーム事業

エンタメビジネスのノウハウを活用して新たに取り組むゲーム事業では、主にPC、家庭用ゲーム機向けのインディーゲームを全世界向けにパブリッシングする事業を進めています。

「バックパック・バトル」

中世オープンワールドRPG「マースウッド」

オープンイノベーションの推進 （スタートアップ企業への投資と事業共創）

独創的な技術やアイデアを持つスタートアップ企業への投資・協業を推進し、新しい事業の創造を通じて、新たな市場の開拓を目指します。これまでにないエンタテインメントをグローバルに提供することにチャレンジしています。

Shochiku Accelerator2023「Entertainment Festival」

松竹未来創造プログラム2023

Real Estate Business

不動産事業

街づくりで、文化をつくる。

全国各地に保有する不動産資産の開発、賃貸事業、管理運営により安定収益基盤を築くとともに、演劇や映画をお楽しみいただく場を提供し、劇場を中心とした街づくりに取り組んでいます。

劇場文化の発展・保有物件の価値向上

松竹の不動産は、劇場を再開発した物件が中心です。その土地の劇場の特色を活かしつつ、時代のニーズに合わせた建替え・改修により新たな価値を創出しています。

賃貸事業
管理運営

(株)松竹サービスネットワーク

劇場や映画館・商業施設・オフィスビルなどの賃貸事業、管理運営を行っています。

〈保有物件〉歌舞伎座タワー、銀座松竹スクエア、東劇ビル、松竹倶楽部ビル、銀座2丁目松竹ビル、銀座2丁目松竹ビルANNEX、有楽町センタービル、新宿松竹会館、浅草六区松竹ビル、大船ショッピングセンター、大阪松竹座ビル、京都松竹ビル、京都松竹座ビル、京都松竹阪井座ビル、松竹京都撮影所、博多STビル ほか

松竹の街づくり・地域貢献

個々の物件を管理運営する「点」の開発のみならず、エリアの価値を高める「面」の開発に取り組んでいます。現在は東銀座地区を中心としたイベント開催や建物装飾、またWEBサイトやSNSを通じた街の魅力の発信、地域清掃などを行っています。

歌舞伎座タワー

有楽町センタービル

新宿松竹会館

京都松竹座ビル(MOVIX京都・南館)

京都松竹阪井座ビル

Shochiku Groups

主要なグループ会社

松竹芸能株式会社

〈芸能プロダクション〉

タレント・俳優などの養成、マネジメント、
演劇・テレビドラマ・イベントなどの企画制作
大阪府大阪市中央区北久宝寺町2-5-7大阪松竹衣裳ビル
TEL 06-6258-8085

歌舞伎座舞台株式会社

〈歌舞伎の大道具〉

歌舞伎座における大道具の製作・本番進行業務、
各種舞台公演やイベントの製作・舞台運営
東京都中央区銀座7-15-5共同ビル4F
TEL 03-3541-8220

株式会社関西美術

〈小道具の製作・賃貸〉

主に演劇小道具の製作・賃貸
大阪府大阪市中央区北久宝寺町2-5-7大阪松竹衣裳ビル
TEL 06-6224-0361

株式会社松竹撮影所

〈映画・テレビドラマの企画制作〉

映画・テレビ・CMなどの企画・制作及び制作請負、
スタジオ・セットのレンタル、ポストプロダクション業務
［京都撮影所］京都府京都市右京区太秦堀ケ内町12-9
［東京スタジオ］東京都中央区築地4-1-1東劇ビル3F

松竹音楽出版株式会社

〈映画・テレビの音楽制作と著作物管理〉

映画・テレビなどの音楽制作、著作権管理業務、音楽原盤
の企画制作・販売、コンサート・イベントの企画、制作
東京都中央区築地4-1-1東劇ビル17F
TEL 03-5550-1687

株式会社
松竹サービスネットワーク

〈ビル・建物の総合管理〉

ビル・建物の清掃、設備管理、警備、駐車場運営、
生花・植物などの販売及び植栽管理
東京都中央区築地4-1-1東劇ビル5F
TEL 03-5550-1373

S・Gエージェント株式会社

〈タレントエージェント〉

タレントエージェント、演劇コンテンツの企画・製作受
託・営業協力、演劇コンテンツの映像化権の販売、社会
貢献事業
大阪府大阪市中央区北久宝寺町2-5-7大阪松竹衣裳ビル
TEL 06-6258-8085

松竹衣裳株式会社

〈衣裳や小道具の製作・賃貸〉

歌舞伎・演劇・映画・テレビ・舞踊・
イベントなどの衣裳、小道具の製作・賃貸
東京都中央区新富2-2-8松竹新富ビル
TEL 03-3552-5921

松竹ショウビズスタジオ株式会社

〈音響制作・舞台PA〉

舞台・イベント・コンサートなどの音響・効果プラン、音源
制作、オペレート業務、劇場などの音響室設計管理業務
東京都中央区築地4-1-1東劇ビル6F
TEL 03-6264-3815

株式会社松竹映像センター

〈ポストプロダクション〉

映画・テレビなどの映像編集、音響制作、
ポストプロダクション業務、映像作品のアーカイブ管理
東京都港区台場2-3-5台場ガーデンシティビル7F
TEL 03-6426-0501

松竹ナビ株式会社

〈広告代理店・PR会社〉

宣伝・広告の企画、運営及び制作業務、イベントの企画・
運営、タイアップ事業、WEB・SNSの企画、制作事業
東京都中央区築地4-1-1東劇ビル8階
TEL 03-5550-1730

株式会社松竹エンタテインメント

〈芸能プロダクション〉

俳優・タレント・アーティストなどの養成、マネジメント、
演劇・テレビドラマ・イベントなどの企画制作
東京都中央区築地4-1-1東劇ビル14F
TEL 03-3541-4326

日本演劇衣裳株式会社

〈衣裳の製作・賃貸〉

歌舞伎・舞踊衣裳の製作・賃貸
東京都中央区新富2-2-8松竹新富ビル7F
TEL 03-5117-2035

株式会社
松竹マルチプレックスシアターズ

〈映画館運営〉

映画館の企画、開発、運営、パンフレット・キャラクター
商品の販売、付随する飲食店などの営業
東京都中央区築地4-1-1東劇ビル6F
TEL 03-3547-0765

松竹ブロードキャスティング
株式会社

〈CS認定基幹放送事業〉

有料放送の衛星劇場・ホームドラマチャンネル運営、
コミュニティサイト運営、映画製作・ワークショップ運営
東京都中央区築地4-1-1東劇ビル5F
TEL 03-5250-2321

松竹ベンチャーズ株式会社

〈スタートアップ投資・共創事業〉

スタートアップ企業を対象とした投資事業、
スタートアップ企業と連携した共創事業
東京都中央区築地4-1-1東劇ビル6F

会社概要

会社名	松竹株式会社／Shochiku Co., Ltd.
所在地	東京都中央区築地4-1-1東劇ビル
TEL	03-5550-1533（代表）
創業	1895（明治28）年
設立	1920（大正9）年
資本金	33,018百万円（2024年2月29日現在）
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場／ 札幌証券取引所／福岡証券取引所
従業員数	単体：601名／連結1,421名（2024年2月29日現在）

支社・営業所

関西支社	大阪府大阪市中央区道頓堀1-9-19 大阪松竹座ビル 地下2F／06-7166-3430

直営劇場

歌舞伎座	東京都中央区銀座4-12-15／03-3545-6800
新橋演舞場	東京都中央区銀座6-18-2／03-3541-2600
大阪松竹座	大阪府大阪市中央区道頓堀1-9-19／06-6214-2211
南座	京都府京都市東山区四条大橋東詰／075-561-1155

FSC ミックス FSC® 0000000

松竹株式会社